

# 東名ジャンクション（仮称） 上部空間等利用ニュース

No. 4

平成28年8月 発行：世田谷区砧総合支所街づくり課

東名ジャンクション（仮称）上部空間等に係るにぎわいづくりの可能性について（平成27年度調査）

これらは、平成27年度調査でまとめたものであり決定されたものではありません。

## 1-調査内容

平成27年7月に公表した「東名ジャンクション（仮称）上部空間等利用計画（素案）」（上部空間等利用ニュース 3）を基に、東名ジャンクション周辺地区（裏面をご覧ください。）の環境保全と活性化並びに上部空間等の維持管理を効果的に進めるため、地域資源等の基礎調査を行い、エリアマネジメント等の仕組みを検討し、今後のにぎわいづくりについて、その可能性をまとめましたのでお知らせいたします。

エリアマネジメント：地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための住民・事業主・地権者等による主体的な取り組み

### 東名ジャンクション（仮称）上部空間等利用計画（素案）作成までの経緯

- 平成22年度 東名ジャンクション周辺地区街づくり方針の策定
- 平成27年度 東名ジャンクション（仮称）上部空間等利用計画（素案）の作成

#### 【基本方針】

- 1-みどりのみずと農の豊かな砧の原風景の継承
- 2-子どもから高齢者まで誰もが利用し、交流できるにぎわいの場
- 3-震災や水害から区民を守る地域の防災拠点

### 平成27年度 地域資源等の基礎調査

#### 東名ジャンクション周辺地区内外の地域資源等の把握 裏ページへ

- にぎわいづくりに活かせる自然的資源・歴史的資源等を把握
- 自然的資源等
- ・7.53haの農地（うち生産緑地5.29ha）、農地率8.9%  
出典：平成23年度土地利用現況調査、平成23年度生産緑地台帳
  - ・野菜等の無人販売所9箇所
  - ・次大夫堀公園の水路や水田
  - ・野川（上流部の小田急高架下～谷戸橋間は関東・水と緑のネットワーク拠点百選選定地）など
- 歴史的資源等
- ・次大夫堀公園の民家園
  - ・宝寿院、慶元寺等の寺社
  - ・筏道（旧品川宿）や登戸道（旧大山道）の古道
  - ・田直・喜多見清水・殿山遺跡等の埋蔵文化財 など

#### 地域関係者等へのヒアリング 裏ページへ

- 以下の地域関係者等へのヒアリングにより意見・要望を把握
- ・町会・自治会（喜多見東部町会、喜多見中部町会、喜多見上部自治会、宇奈根町会、大蔵本村睦会、石井戸会、法人格成城自治会）
  - ・小学校（世田谷区立喜多見小学校、世田谷区立砧小学校）
  - ・次大夫堀公園民家園
  - ・JA東京中央
  - ・田園プラザ川場、世田谷川場ふるさと公社
  - ・大学 など

#### エリアマネジメント等の可能性の検討

にぎわいづくりの可能性を検討 右ページへ  
上記より、エリアマネジメント等による、にぎわいづくりの可能性を検討

## 2-にぎわいづくりの可能性

### 2-1 目指すべきエリアマネジメントの将来像

本地区におけるにぎわいづくりとして以下の3つの視点を掲げます。まちづくりに関わる様々な人や組織が集まり、上部空間等を含めた東名ジャンクション周辺地区のまちづくりについて関わり合う場をつくることで、特色あるまちづくりが期待できます。まちづくりを担うエリアマネジメント組織は、下図のように、上部空間等の管理主体に加え、「砧の原風景（国分寺崖線や農地、野川等のみどりのみずの豊かな風景）」をテーマに、町会・自治会や、地域住民、民間企業等が繋がり、円滑に意見交換や連携を行うことができる体制を築く必要があります。

**「砧の原風景」をテーマにしたまちづくり**  
地域整備方針や東名ジャンクション（仮称）上部空間等利用計画（素案）で示された基本方針に基づき、「砧の原風景」をテーマに掲げたまちづくりを進めます。

**官民連携によるまちづくり**  
近年、民間企業と連携したまちづくりが積極的になっています。本地区においても、にぎわいづくりと共に整備・維持管理費縮減を図るため、官民連携のまちづくりが必要です。

**地域住民と共に形成するエリアマネジメント組織**  
東名ジャンクション（仮称）上部空間等の周辺の地域住民を含むにぎわいの場づくりとして、上部空間等に関わる関係主体（世田谷区等）だけでなく、町会・自治会や、地域住民を含めた体制が必要です。

図2-1.にぎわいづくりの方向性における3つの視点

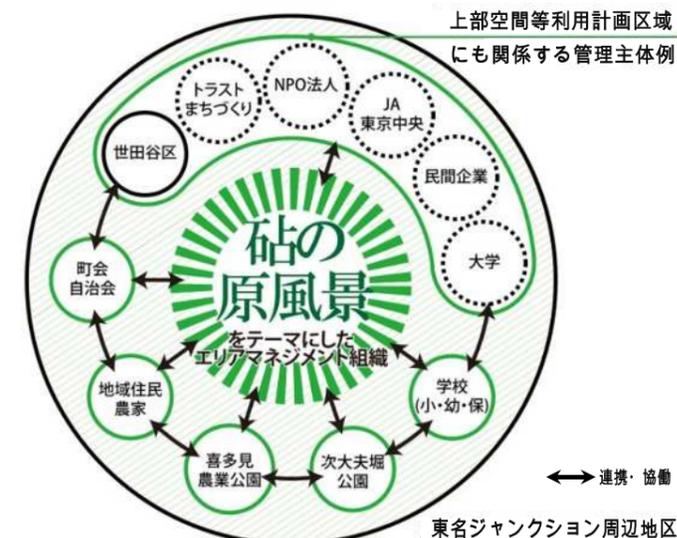


図2-2.目指すべきエリアマネジメント組織の将来像

### 2-2 エリアマネジメント組織によるにぎわい

エリアマネジメント組織は、東名ジャンクション周辺地区全体のマネジメントを行うことで地域との連携を図り、にぎわいづくりの仕組みをつくる必要があります。

地域内外の連携を積極的に行うことで、上部空間等から外へ広がるにぎわいづくりを図ることができます。

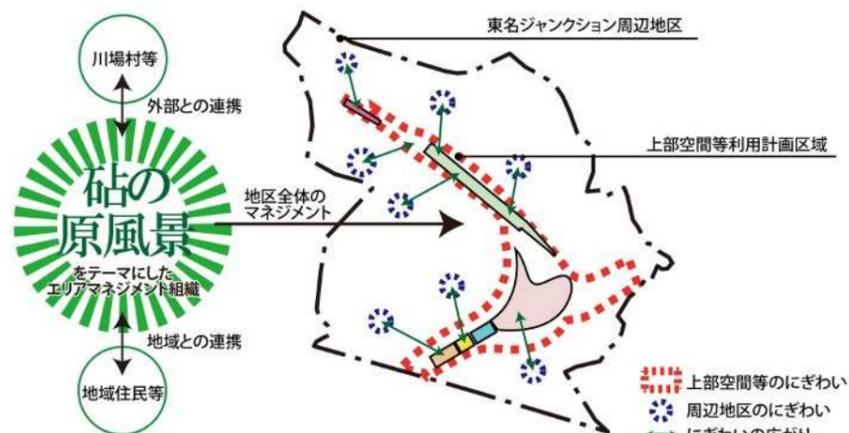


図2-3.周辺地区に広がるにぎわいづくりのイメージ

### 2-3 エリアマネジメント組織づくりに向けたプロセスイメージ

エリアマネジメント組織は、周辺地区内の既存の組織を基盤とし、情報共有やネットワーク化等を通して、地区内外の人や組織と連携・協働することが想定されます。また、上部空間等の利用計画・整備内容を踏まえるとともに、供用開始後のスムーズなエリアマネジメントを行うことが望まれます。組織体制については、状況に応じて、拡大・拡充を図ることとされます。

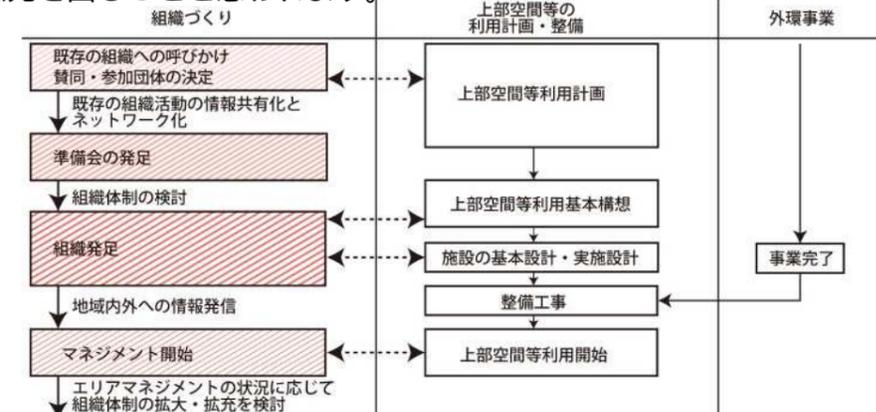
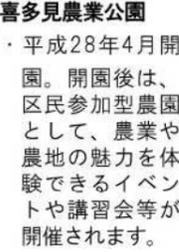
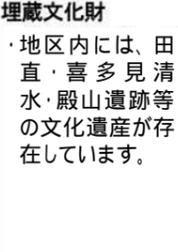
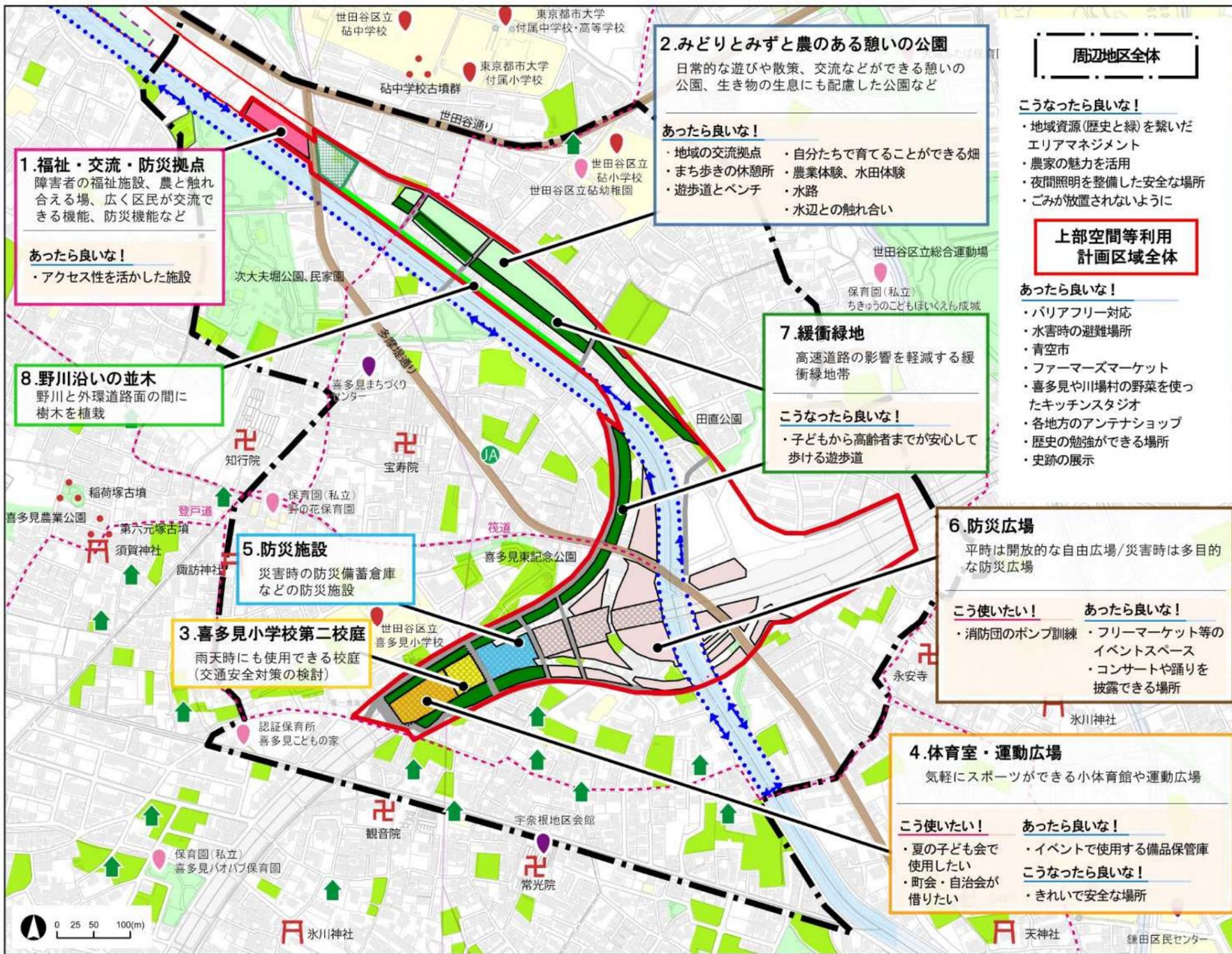


図2-4.エリアマネジメント組織づくりに向けたプロセスイメージ

### 3- 計画区域の各ゾーンの状況・地域資源・ヒアリング内容

#### 計画区域の各ゾーンの状況・地域資源、およびヒアリング内容

地域資源	<b>生産緑地・野菜の直売所</b> ・東名ジャンクション周辺地区内には7.53haの農地（うち生産緑地5.29ha、農地率8.9%）があります。 <small>出典：平成23年度土地利用現況調査 平成23年度生産緑地台帳</small> ・砧地域には直売所が51箇所あります。 <small>出典：平成28年度世田谷農産物直売所マップ</small>	<b>次大夫堀公園、民家園</b> ・世田谷の農村風景を再現した公園で、園内に水路を有し、その水路に沿って当時の古民家や水田が配置されています。 ・野川沿いでは、子育て世代がお昼ごはんを食べたり、子どもが幼稚園から帰ってくるのを待つ風景が見られます。	<b>神社、寺院、古道</b> ・計画区域周辺には神社が多数点在しています。宝寿院の本尊は平安末期から鎌倉初期の作と認定され、世田谷区有形文化財に指定されています。 ・砧地域には、登戸道と筏道の古道が通っています。これらに沿って、道標やお地藏さんが残っています。	<b>野川</b> ・上部の小田急高架下～谷戸橋間は「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」に選定されています。治水と環境保全を目指す多自然川づくり活動が行われています。	<b>喜多見農業公園</b> ・平成28年4月開園。開園後は、区民参加型農園として、農業や農地の魅力を体験できるイベントや講習会等が開催されます。	<b>埋蔵文化財</b> ・地区内には、田直・喜多見清水・殿山遺跡等の文化遺産が存在しています。
						



#### ■ヒアリング内容

東名ジャンクション周辺地区の関係各者に、上部空間等や周辺地区全体の具体的な使い方について要望・意見を伺い、まとめました。

#### ■ヒアリング先

- 町会自治会（喜多見東部町会、喜多見中部町会、喜多見上部自治会、宇奈根町会、大蔵本村睦会、石井戸会、法人格成城自治会）
- 小学校（世田谷区立喜多見小学校、世田谷区立砧小学校）
- 次大夫堀公園民家園
- JA東京中央
- 田園プラザかわば
- 世田谷川場ふるさと公社
- 大学等

#### ■ヒアリングの種類

こう使いたい！

こうなったら良いな！

#### ■凡例

	東名ジャンクション周辺地区		生産緑地
	東名ジャンクション(仮称)上部空間等利用計画区域		公園緑地
	野菜の直売所		JA
	福祉・交流・防災拠点		神社
	みどりのみずと農のある憩いの公園		寺院
	喜多見小学校第二校庭		史跡等
	体育室・運動広場		古道
	防災施設		小・中学校
	防災広場		幼稚園・保育園
	緩衝緑地		公共公益施設
	野川沿いの並木		
	利用保留区域(上部空間の利用範囲が決まり次第検討に加える区域)		

※喜多見四・五丁目は、東京都第1号の「農の風景育成地区」に指定されています。  
 ※本図は、平成23年 世田谷区地理情報システムに地域資源を重ねて作成いたしました。

**街づくりに関するご意見・お問い合わせ先**  
 おいかわ みなみ ひせと  
 世田谷区砧総合支所街づくり課 及川・南・久本  
 【所在地】〒157-8501 世田谷区成城6-2-1  
 【電話】3482-1301・2594 【FAX】3482-1471